



BRAND-NEW ENGINEERING

世界をリードするデザインエンジニアリングファームへ



SOLIZE PARTNERS

INDEX

- 04 トップメッセージ
- 06 MotoGP
- 08 魔改造の夜
- 10 SOLIZE PARTNERS
の挑戦
- 12 CROSSTALK
- 14 MEMBER'S VOICE
- 16 人財育成
- 17 キャリア事例
- 20 職種紹介
- 28 グローバル展開
- 30 私たちについて
事業領域
- 30 会社概要



採用サイトはこちら

BRAND-NEW ENGINEERING

世界をリードするデザインエンジニアリングファームへ

技術の進化が、かつてないスピードで加速し続ける時代。

新たな価値創造の鍵は、そのテクノロジーをどう掛け合わせるかにある。

私たちの強みは、その「掛け合わせる力」にある。

自動車、重工業、医療…。

あらゆる領域のお客さまのパートナーとして、

その現場で共に先端のものづくりを行える環境。

常に最先端の情報やノウハウに触れ続け、

その経験の積み重ねで、自分の中に多様な専門性を蓄積していく。

さらに設計だけではなく、製造だけでもない、

デザイン・設計から製造まで、ものづくりの醍醐味を一気通貫で体験する。

ここにはほかにはないエンジニアとして自分を高め続けるチャンスがある。

多様性と先進性が交わるこの環境を活かし、

デジタルものづくりを革新し続けていこう。

変化の加速する時代に幅広いエンジニアリングの可能性に挑み続け、

価値を発揮し続ける「未来の自分」に出会いに行こう。

既存の常識を飛び越え、好奇心と情熱を解放すれば

あなたが BRAND-NEW ENGINEERING の主役になる。

エンジニアとしての 新しい生き方を共に 楽しんでいきましょう

井上 雄介 Inoue Yusuke
代表取締役社長



自分の中に 多様性を持つ

はじめにあなたに質問します。これから10年、20年先の技術者としてのキャリアを思い描いたとき、1つの専門技術だけを研ぎ澄ませる道と、複数の専門性を自在に組み合わせる道のどちらかを選ぶとしたら、あなたはどちらに心が躍りますか。

AIが瞬時にコードを生成し、データサイエンスが未知のパターンを可視化して3Dプリンターがその場で試作品を出力する。テクノロジーの進化は日々加速し続け、昨日の常識が今日には役立たなくなる時代です。これからますます変化のスピードが加速する時代を楽しむには、自分の内側に複数の「引き出し」を持ち、状況に応じて最適な組み合わせを即座に描ける力が必要だと私は考えています。

1つの技術だけで価値を生み出せる時代は終わろうとしています。これからは、技術と技術を掛け合わせて、まったく新しい価値を生み出す時代です。あなた自身にも学生時代に打ち込んできた専門性があるでしょう。それがこれから2つ、3つ、4つと増えていったら、どんな人生になるか想像してみてください。

なぜ「BRAND-NEW ENGINEERING」なのか

私たちが掲げる「BRAND-NEW ENGINEERING」は、私たちの意志であり、決意でもあります。そして、それは私たちと一緒に「新しい時代に、新しいエンジニアリングで価値を生み出していこう」という、あなたへのメッセージでもあります。

この「BRAND-NEW ENGINEERING」を実現し、新たな価値創造を導く鍵は、テクノロジーを「掛け合わせる力」にあると私たちは考えています。そして、それを可能にする場がSOLIZE PARTNERSなのです。

- 多領域への越境——自動車、重工業、医療、エネルギー…。私たちはあらゆる現場に入り込み、お客さまのパートナーとして最先端の設計・製造を手がけています。
- 経験の共有——プロジェクトで得た経験を共有し、他の経験と融合させ、新たな開発手法へと進化させる。たとえば、材料開発の経験を航空機の設計に応用したり、自動車開発のシミュレーションで得た経験が医療機器の最適化に活用できたりと、異分野での最先端の経験が連鎖反応を起こしています。
- 一気通貫の醍醐味——デザイン・設計から製造まで、ものづくりの現場を縦断できる。「図面を引いただけ」

「設計しただけ」では終わらず、プロダクトが形になり、社会に届くまで見届けられる環境です。

縦にも横にも掛け合わせることができる環境が、「BRAND-NEW ENGINEERING」を加速していきます。だからこそ、ここは自分の中に多様な専門性を蓄え、他にはないスピードで成長できる場だと胸を張って言えるのです。

技術的ダイバーシティが 価値を生む

SOLIZE PARTNERSの強みである技術的ダイバーシティが発揮された例が、テレビ番組「魔改造の夜」に出演した際のモンスター開発プロジェクトです。自動車、玩具、家電、モータースポーツなど、専門の異なるエンジニアが結集し、「ありえない速さで走行する扇風機」の魔改造に挑戦しました。3Dプリンターとシミュレーションを駆使して「設計」「造形」「テスト」を1日に何度も繰り返し、高速でプロダクトを生み出しました。3D製造を知り尽くしたエンジニアによる3Dプリンターを活用したフレーム開発や、自動車エンジニアによる空力解析を用いた推力の最適化、医療機器に精通するエンジニアによる機構設計など、それぞれの専門性を活かしたエンジニアたちの力が結集しました。20代を中心としたエンジニアチームが異分野の知見を縦横無尽に掛け合わせた結果、圧倒的な性能を実現。番組内ではゲームのようなプロ

ジェクトでしたが、これは私たちの現場でも日々起きていることなのです。

「BRAND-NEW ENGINEERING」の主演へ

私がものづくりに魅せられた原点は、小学一年生の誕生日に親から贈られたハンダゴテでした。壊れたラジオを分解して、抵抗やコンデンサを付け替え、音が鳴った瞬間、私はできあがった喜びで胸がいっぱいになりました。さらに嬉しかったのは、両親から「これがあれば便利になるね」と言われたときでした。技術は人や世の中のためになるんだ。作る喜びの先には、人を幸せにしたり、世の中をよくしたりする、さらに大きな喜びがあることを初めて体験した出来事でした。私が技術者として追い求めているものは、そのときから変わりません。技術はあくまで道具にすぎません。しかし、「人を喜ばせたい・世の中をよくしたい」という情熱と、高度な道具の使い方が掛け合わさることで、その道具は計り知れない力を発揮します。

変化の加速する時代に、幅広いエンジニアリングの可能性に挑戦し続け、価値を生み出し続ける未来の自分に出会いに来ませんか。「BRAND-NEW ENGINEERING」の主演になるのは、あなたです。さあ、一緒に新しい時代を楽しみましょう。



MotoGPという 最高峰から始まる 新たな挑戦

SOLIZE が LCR Honda IDEMITSU を支援

2025年、SOLIZEは二輪レース最高峰MotoGPのLCR Honda IDEMITSU のスポンサーとなった。

タイ初の MotoGP ライダー ソムキアット・チャントラ選手を後押しする理由はどこにあるのか。

会社の歩み・技術・人財育成に焦点を当て、3つの視点で紐解く。

LCR Honda IDEMITSUと 2025年度MotoGPのスポンサー契約を締結

最高速の現場で加速する 「挑戦 DNA」

MotoGPのライダーたちは時速300kmを超える世界でコンマ数秒を削りあいながら戦っています。「世界一を目指す人を支援し、その姿勢を自分たちの開発にも置き換えたい」。代表の井上はMotoGP支援の意図をそう語ります。SOLIZEは創業以来ベンチャーマインドを貫き、再生、上場を経てなおチャレンジャーであり続けてきました。この挑戦DNAはMotoGPという極限の現場と接点を持つことで、さらに加速し始めています。

尖った強みを軸にすることが 未来を切り拓く

井上は続ける。「チャントラ選手がすぐに優勝するのは難しいと思っていますが、部分的には他のライダーより速いセクションを持っています。これがとても大事なことで、なぜなら可能性があるということだからです。SOLIZEも同じでまだそれほど大きくないし、たとえば3Dプリンターやシミュレーションの世界では部分的に日本や世界でトップクラスのテクノロジーを持っています。この強みを軸に周囲を高めるアプローチをしていく。尖ったところを持っていることは企業にとってもライダーにとっても大切だと考えています」。

タイ発・グローバル開発 拠点が始動

2025年2月28日、チャントラ選手が世界に挑んだ開幕日と同日に設立されたSOLIZE Thailandは、モータリゼーションが加速するこの国で、現地メーカーへの設計支援、日本案件のオフショア開発、エンジニアの成長機会創出の3つを掲げて事業をスタートしました。

設計・解析はリモートで対応でき、3Dプリンターは世界のどこに設置しても同一品質を再現できる。この強みを基盤に、タイ人技術者と日本人エンジニアが協働する多文化チームが動き始めている。法務出身ながら現地社長に抜擢された三角紘平が体現するように、「意思を示せば大胆に任せる」カルチャーは海外でも発揮されています。

MotoGPで培われる挑戦のDNAとBRAND-NEW ENGINEERING。この両輪がSOLIZE PARTNERSの成長を支えています。ここにあなたの好奇心・挑戦心が加われば、次のイノベーションはきっと生まれるでしょう。



ソムキアット・チャントラ選手
LCR・ホンダ・イデミツ所属ライダー。2025年、タイ人初のMotoGPクラスのフル参戦ライダーとしてデビュー。

SOLIZEはMotoGPでCASTROL Honda LCRの支援も開始した



早速、第6戦ル・マン(フランス)でCASTROL Honda LCRのヨハン・ザルコ選手がMotoGP参戦150戦目にして母国初優勝という歴史的勝利を飾った。

「魔改造の夜」に挑戦したエンジニアが発見した新しい可能性とは

足が長いよ ソラちゃん

チームリーダー

大柳 海樹 Ohyanagi Miki
2018年 新卒入社

瞬足! くるりんぱ3号

チームリーダー

水間 博之 Mizuma Hiroyuki
2018年 経験者入社

総力を結集して本気のものづくりに挑む

NHK総合「魔改造の夜」は、エンジニアが極限のアイデアとテクニックでおもちゃや家電をモンスターに変貌させ、順位を競い合う技術エンターテインメント番組です。SOLIZEは第3夜にSライズとして参戦し、「扇風機50m走」と「赤ちゃん人形綱登り」の2つの競技に出場しました。

「赤ちゃん人形綱登り」のリーダーを任された大柳は、当時入社4年目の若手エンジニアでした。「リーダーは初めての経験。しかも会社の総力をあげて挑戦するプロジェクトでした。緊張感がありました、それ以上にワクワクとドキドキの気持ちが勝りました」と振り返ります。若手エンジニアを中心に、ベテランがサポートする体制が生まれ、チームには樹脂造形、金属造形、機構設計、デザイン、解析、システム制御を担うエンジニアが各部署から集められました。

企画、設計、解析、製造まで一気通貫のものづくりができることが、SOLIZEの強みです。「魔改造の夜」は、全力でものづくりに打ち込める絶好の舞台でした。「正解がないお題をゼロベースから考えられ、さまざまな技術や知識、キャリアを持つ仲間たちと本気で取り組みました。よし、やってやるぞ、と気合いが入りました」(大柳)

自分たちにしかできないマシンをつくろう

「扇風機50m走」のリーダーを任されたのは、経験豊富な設計エンジニアの水間でした。「作業室に皆が集められ、お話を聞きました。最初は正直、「本当にできるのかな」と感じました」しかし、チームで議論を重ね、初号機をつくりはじめると、「このやり方はどうだろう」と考えたことが少しずつ形になっていきました。

「はじめは各自、やってみたいことをどんどん試していきました。

仕事では優先順位を考えて取捨選択していく必要がありますが、未知のことに挑むには、何が正しいかわかりません。試行錯誤する過程は楽しかったです。一方で、限られた時間で実現していくことの難しさに、最終的には苦しめられることになりました」(水間)

それぞれエンジニアとして一言あるメンバーが集まっていたため、意見を調整することがリーダーとして一番大変だったそうです。そんななか、チームが一致して目指したのは、「SOLIZEだからこそできるものづくり」を表現することでした。

「2号機は、最適化解析で部位にかかる負荷を計算し、一番スピードが出るように、なおかつ最軽量となるよう全体を3D設計しました。3Dプリンターに精通していなければつくれない、チーム全員の想いが詰まったマシンとなりました」(水間)

極限のものづくりにおけるさまざまな決断

「赤ちゃん人形チーム」の大柳が初めてリーダーを経験して苦労したことは、全員の目標を一つにすることでした。「最初に甘めの目標設定をしてしまったことを後悔しました。ジャッジが求められる場面でも迷ってばかりでしたが、先輩から言われた『ただでは転ぶな』という言葉を引きかけに変わりました」(大柳)

「魔改造の夜」には「失敗しても構わない」というルールがあります。「失敗することは成功に近づくこと。だから、どれだけ早く失敗し、次につなげることができるかが大事なのです。SOLIZEの強みは、3D CADで設計した部品を、すぐに3Dプリンターで造形できることです。考えられるあらゆるパターンを試作して、実験を繰り返し、どんどん失敗から改善していきました」(大柳)

同じ頃、「扇風機チーム」の水間は、苦渋の決断を迫られました。「2号機と並行して、社内のサポートメンバーが製作していた3号機がありました。本番2週間前、どちらかを選ばなければならない

タイミングが来ました。チームとしては3Dプリンティングを全面に使い、会社の『らしさ』を盛り込んだ2号機を走らせたかったのですが、残された時間という現実と直面しました。このときにやりきれなかったという後悔は、私の仕事への向き合い方をあらためて考えるきっかけとなりました」(水間)

エンジニアの協働が新しいものを生む

本番当日、「扇風機チーム」はギリギリまで設定を追い込んだ3号機で競技に臨みました。「フルスピードで挑戦できたのは、本番が初めてでした。計算上は大丈夫だと思っていましたが、実際にフルスピードで走らせてゴールしたとき、『すげー、やったよ!』と皆さんから歓声があがり、感動しました」(水間)

本番でこれまでで一番のタイムを出したのは「赤ちゃん人形チーム」も同様でした。「全員が全力を出し切ったので、どんな結果になっても後悔はありません。対戦チームのマシンにも感動しました。勝負ではありますが、エンジニア同士がリスペクトしあう場でした」(大柳)

プロジェクトに取り組んだ6週間、「魔改造の夜」で2人は何を得たのでしょうか。

「初めてリーダーを経験し、成長した場であると同時に、優れたエンジニア集団であることが大事だ、という発見もありました。集団だからこそ、それぞれの個性が磨かれ、さまざまな技術の掛け合わせが生まれることを知りました」(大柳)

「社内にはあらゆるスペシャリストがいて、一気通貫でものづくりができること。高い目標を掲げても、ゼロから形にできる会社であることを実感しました」(水間)

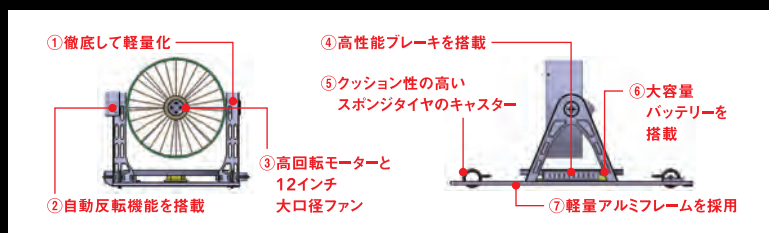
多様な専門性を持つエンジニアが協働することで、新しいものを生み出すことができます。「魔改造の夜」は本気のものづくりに挑み、SOLIZEの可能性を示す舞台となりました。

「扇風機50m走」 モンスター／瞬足! くるりんぱ3号



【技術的POINT】

- 1 3D CADと3Dプリンターを活用し、部品の開発期間を短縮
- 2 CAEを活用し、シミュレーションによる性能評価を実施
- 3 扇風機の走行試験環境を1Dシミュレーションで再現し、テスト走行回数を削減



「赤ちゃん人形綱登り」 モンスター／足が長いよ ソラちゃん



【技術的POINT】

- 1 ロープクライミングに使用する登山具「アッセンダー」をベースに、オリジナル仕様を3Dプリンターで製作
- 2 樹脂部品を採用し、部品点数を最大限減らした超軽量設計
- 3 総重量に対して最適なアーム長を設定
- 4 3Dプリンターを活用した10以上の仕様検討から導き出した最適仕様の決定
- 5 綱登り中の重心を維持する左右対称デザイン



3Dデータがあればサイズ違いを作成可能



①②を一部品として造形

SOLIZE PARTNERSの挑戦

私たちは最先端技術への投資や、多様な分野でのステークホルダーとの連携を通じて、持続的な価値創造に取り組んでいます。その取り組みの一例をご紹介します。

東京大学のプロジェクト実践型講義を実施

東大 × SOLIZE × 魔改造 デジタルものづくりの魅力を体験

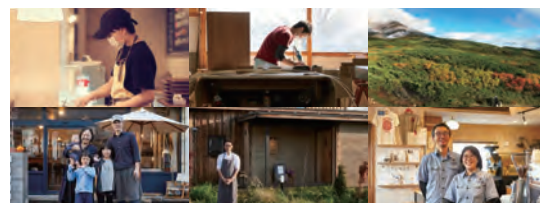
2025年4月、東京大学工学部と魔改造研究会が開講する実践型講義「魔改造の放課後」において、「デジタルものづくり体験プログラム」を実施しました。本プログラムでは、自転車のフレーム設計を題材に、ものづくりの設計フェーズで仕様を満たすため仮説・検証を行いました。3D CADやCAEなどのデジタルツールを活用し、性能向上を目指した設計の仮説立案と検証をチームで繰り返します。学生たちは議論を重ね、標準設計を上回る高性能なフレームを完成させました。これにより、ものづくりにおけるデジタル技術の魅力を体験し、創造性と実行力を養うことが期待されます。

SOLIZEは、今後もこのような産学連携の取り組みを通じて、未来を担う学生の挑戦や新たな価値を創造するアントレプレナーシップを応援していきます。



北海道 東川町と

オフィシャルパートナーシップ協定を締結



木工家具産業と デジタル技術の掛け合わせで 美しい未来を東川町と共に

北海道東川町とSOLIZEは、地域の持続的発展と次世代育成を目指し、オフィシャルパートナーシップ協定を締結しました。東川町の基幹産業である木工家具づくりに、3Dプリンターをはじめとしたデジタルものづくり技術を掛け合わせることで、地域資源に新たな付加価値を生み出す取り組みを推進し、若者にも魅力ある未来の産業像を描きます。私たちは自然・人・技術の調和を図りながら、持続可能なデジタルものづくりのあり方を東川町と共に模索し、本取り組みが東川町の皆さんの笑顔と、日本社会への貢献につながる新たな価値創造の革新となることを期待しています。

JAXA

宇宙用ロボットに採用された精密金属 3D 造形技術

国際宇宙ステーションで活動する宇宙飛行士を支援する船内ドローン「Int-Ball2」は、宇宙飛行士の代わりに写真や動画の撮影を行うロボットです。JAXAが開発し、国際宇宙ステーションに搭載された本機には、過酷な宇宙環境での活動に適した軽量・高強度・複雑形状の筐体が求められ、金属3Dプリンターによる金属造形が最適な製作方法でした。

SOLIZEは、アルミ部品の製造を請け負いました。

航空宇宙の分野は、部品の製作個数が少ない中、軽量、小型な部品が求められていますが、金属3Dプリンターを活用することで、少量部品の製作コストを抑え、短期間で製作できるだけでなく、既存工法では難しかった形状も製作でき、製品の軽量化、小型化が実現できました。



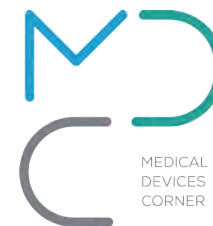
スタンフォード大学発の

スタートアップ企業MDC社に出資

高磁場下の手術を革新 遠隔操作での 外科手術の実現を目指して

MDC社は、世界で最も大きな研究機関の一つであるSRI Internationalでインキュベーションされたスタンフォード大学発のスタートアップです。MRIやCTなど高磁場・放射線環境下において、撮像と針の穿刺を交互に行う画像ガイド下生検などの複雑な医療処置に代わる、高磁場・放射線環境でも作動できる手術支援ロボットを開発しています。リアルタイムで断面などの画像を見ながら、遠隔操作での外科手術の実現を目指しており、まさに次世代医療を切り拓く技術です。

SOLIZEが自動車業界や製造業向けに培ってきた3Dデジタル技術によるものづくりのノウハウや知見が、同社のロボット開発に活用されています。



学生フォーミュラ大会に協賛



若き挑戦に共鳴し 学生フォーミュラを応援

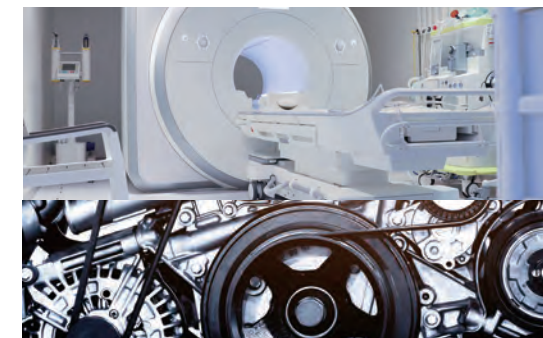
「学生フォーミュラ日本大会2024—ものづくり・デザインコンペティション—」に協賛しました。現地開催期間中（2024年9月12日～14日）には企業ブースも出展しました。本大会は、学生自らが構想・設計・製作したレーシングカーで競い合い、自動車産業の未来を担う人財を育てる技術コンペティションです。デジタルものづくりを革新し続けるSOLIZEは、チームで課題に挑む学生たちの姿勢に深く共感し、その情熱と創意を支援しています。若者たちの挑戦に寄り添い、次世代を担うエンジニアの育成に貢献していきます。

日本超電導応用開発

超電導で切り拓く未来 次世代技術への出資と事業成長戦略

日本超電導応用開発株式会社（JSA）への出資を通じて、次世代の基盤技術である超電導分野への取り組みを進めています。JSAは、MRIやモーターに使用される超電導線材の製造・開発を手がけており、従来は加工が難しかったMgB₂を用いた超極細線材の製造開発に挑み、その独自技術により超電導分野にブレイクスルーをもたらすことを目指しています。

SOLIZEは、3Dプリンターによる高精度なものづくりや解析ノウハウを活かし、JSAとの技術融合によって新たな製品開発と市場拡大に貢献しています。さらに、次世代技術への知見蓄積や人材育成にもつながる本協業を通じて、両社の持続的な成長とイノベーション創出を目指します。



SAZANKA Roboticsに協賛

中高生の情熱を支援 ロボコンチームに協賛

中高生国際ロボコンチーム“SAZANKA Robotics”に協賛し、未来のエンジニアを志す中高生たちの挑戦を応援しています。“SAZANKA Robotics”は、学校の枠を超えて集まった中高生によって結成されたチームで、世界最大級の国際大会“FRC (FIRST Robotics Competition)”への出場をはじめ、社会貢献を志向したロボット開発に取り組んでいます。さらに、工作教室などを通じて技術を社会とつなげる活動も行っています。SOLIZEは、中高生が自らの意志で先進的なものづくりに挑戦する姿勢と“SAZANKA Robotics”の理念に深く共感し、活動を支援しています。



SOLIZE

TECHNOLOGY LAB

K.H(左):
2007年入社。生産技術エンジニアとして金型関連業務に長年従事。2022年から人財戦略部でエンジニアのキャリア支援に携わる。

Y.N(右):
2011年入社。情報システム専攻出身。自動車部品メーカーで設計エンジニアとして活躍後、2023年から採用支援に携わる。

Y.S(中):
2015年入社。建築学専攻から一転し、SOLIZE PARTNERSで機械設計エンジニアへ。2020年から新卒教育の講師となり、現在は採用支援に携わる。



お客さまの最先端技術に触れられる驚きと喜び

K.H 入社してからずっと感じていたのは「想像以上に開発の深いところに関われるんだな」という驚きでした。私の場合、お客さまの先行開発部門の開発会議に、外部として唯一参加を許されていました。そこで、他社には絶対にオープンにしない先端技術を研究しながら、「今はどんなことができる?」「それならこの技術いけそうだね」と対等に意見を交わされていて、それがすごく楽しかったなと感じています。

Y.N 私も、まさにそういった現場感に惹かれました。入社後の配属先は、海外の仕入れ先と一緒に新しい自動車部品の技術を導入・研究開発するという、非常にチャレンジングなプロジェクトでした。当時はその技術を初めて国内に取り入れようとしていた段階で、英語で行われる打ち合わせに参加しながら、一緒に製品化を進めていくそのスピード感と難易度の高さに圧倒されつつも、「こんなにも早くプロフェッ

ショナルな方々と一緒に現場を体験できるんだ!」と感動する毎日でした。

Y.S 私はエンジニアとしての仕事はもちろん、そこで得た経験をもっと世の中に活かしたいという想いがあったので、現在は北海道東川町の地域産業の未来とその未来を担う次世代育成の取り組みを推進するプロジェクトに参加しています。ここでは、企業という枠組みとはまた違った領域で仕事ができているので、本当に幅広く挑戦させてもらえる喜びを感じています。

K.H そういう熱い想いを持った方々と、さまざまなデジタルものづくりを行っていききたいからこそ、企業や自治体に関係なく、あらゆる領域で人財が活躍できる環境づくりをSOLIZE PARTNERSでは大事にしています。

CROSSTALK

幅広い事業領域と技術領域だからこそ描ける独自のエンジニアリングキャリア

「BRAND-NEW ENGINEERING」

多業界・多分野にわたるお客さまと、最先端技術に触れられる環境のなかで、新しい価値創造に挑み続けるSOLIZE PARTNERSの社員たち。日々蓄積される集合知を自在に活用し、幅広いフィールドで活躍できるからこそ、他社には真似できないエンジニアリングキャリアを築くことができます。こうしたキャリアを歩んできた3人が、それぞれの歩みや仕事で得られる喜び・楽しさについて語り合いました。

幅広い領域で活躍する多様なプロフェッショナルが集う組織

Y.S SOLIZE PARTNERSには、たとえば設計や解析、3Dプリンターを活用した製品製作、3Dプリンターの販売・保守、コンサルティング、新規事業開発、研究開発など、本当にさまざまな領域で活躍するエンジニアが集まっているのが魅力です。いろいろな現場で経験を積んだプロフェッショナルたちが、それぞれの知見を活かして仕事をし、助け合っています。なかには、キャリアの幅を広げるために途中でキャリアチェンジをした人もたくさんいます。たとえば、設計エンジニアだった人がコンサルティングの領域に移り、結果として設計の実務経験があるから解決できることや、より実践的な提案ができるので、コンサルティングもできるエンジニアとして活躍しているケースも珍しくありません。

K.H 一般的な会社では一つの領域を極めるだけでも大変ですが、SOLIZE PARTNERSには、その学びや実践の機会が豊富にあるので、「掛け算」でキャリアを築き、違う領域のエンジニアになるチャンスもたくさんあります。OJTも教育プログラムも整っていて、本人のやる気次第でスキルアップ、キャリアアップ、キャリアチェンジができます。その支援体制が本当に充実しているなと感じています。



Y.S 私も、もともとは愛知県で設計の仕事をしていて、最初はCADもろくに使えなかったのですが、今では新卒教育の講師や採用にも携わっています。まさか自分が教える側になるとは、当時はまったく想像していませんでした。しかし、そうやって「やってみたい」「こうなりたい」という想いに向き合っていくと、キャリアの幅がどんどん広がっていくのも、他社にはないSOLIZE PARTNERSの魅力だと思います。

Y.N 他社と比べると、そこが大きな違いかもしれません。SOLIZE PARTNERSでは、「こんなエンジニアになりたい」という個々のキャリアが中心です。その希望をもとに、どの現場でどんな経験を積みばよいか、どう学んでいけばよいかを一緒になって考えてくれます。そして、それぞれの道へ進むためのサポート制度も豊富なので、100人いれば100通りのキャリアがあります。

K.H 入社当時に思い描いていた「こんなエンジニアになりたい」という想いを、これまで会社に蓄積されたノウハウを駆使して、会社が実現に向けて支援してくれます。技術を追求したい人にもキャリアに広がりをもとめたい人にも、どちらにとってもSOLIZE PARTNERSは、他社では味わえないエンジニアとしてのキャリアを実現できる場所だと思っています。

Y.N 私たちもその環境を存分に活かして、入社してからずっと楽しく挑戦続けています。

Y.S 間違いないです。楽しくてしょうがないですもん(笑)

現執行役員井上さんの話を聞いて、
この人と一緒に働きたいと思った

友人からの紹介

研修が手厚く
未経験でもやれそうな
感じがしたから

日本ものづくり大賞を受賞し、
業界の常識を変えるような超効率化や
金型の無人工場を建設するなど、
非常に勢いのあるベンチャー企業であり、
CAD未経験の私がその一員として
貢献できると聞いて、
大きなやりがいを感じたため

入社の
決め手は？

3Dプリンターを日本で初めて
持ち込んだという積極的な社風

成長できる。
実際にインターンシップを受けて成長を実感した

良い意味で思ったより自由。
一人ひとりの心理的距離が近く、
年齢や職歴など壁を感じない

業務内容については
入社前の想像の150%(予想以上)で、
自分にとっての理想的な働き方ができている

役職や年齢関係なく
誰とでもフラクに話す
環境だったこと

やばい、バケモン
(あるいは神)がいる

入社して
驚いた
ことは？

年齢は関係ない。
正解を言っている人が正解。
当たり前のようだが
本当にそのとおりで驚いた

興味があることに対して
若手とか関係なく
挑戦させてもらえる
機会をたくさん作ってくれた。
先輩や上司が前向きに
応援してくれるし
環境も整えてくれた

フラクに話しかけてきた人が
後から聞くと結構上の役職で
思った以上に上下関係が
重なくて驚いた

フラクに話せる
良き先輩や後輩

個性が強くて
ものすごく
おもしろい

プライベートと仕事は
きっちり分ける。
基本は家族優先

一緒に働いている仲間や
チームの雰囲気ってどんな感じ？

仕事以外のことでも
一緒に考察したりしてる。
最高のチームに入れて幸せ

それぞれの特化した
バックボーンを持ったベテランたち、
風通しの良い
上司部下ではない仲間と言える存在

人として
素敵な人しか
いない。
カッコいい

お客さまも含め、
若手にもどんどん
チャレンジさせていこう
という雰囲気が強い

さまざまな業種や職種を経験できる＝やりたいことを見つけられる

いろんな技術の
プロがたくさん
いるところ

SOLIZE PARTNERSって
どんな会社？

ものづくりに本気！
エンジニアファーストな会社

チャレンジしたいと思ったときにいろんなチャンスがくれるところ

上司にも意見を言いやすい

ライフプランと
両立させながら
プロジェクト
リーダーの立場で
設計したい

部下が迷わない自分になりたい

5年後、SOLIZE PARTNERSで
どんな自分になっていたたい？

会社にとって
欠かせない、
いろんな技術を持った
万能で頼りになる
エンジニア

こいつには安心して任せられると思ってもらいたい。
自分が上司や先輩にしてもらったことを
後輩にもできるようになりたい

MEMBER'S VOICE

SOLIZE PARTNERS の

会社の雰囲気、チームの温度感、仕事のおもしろさ。
「ホントのところ、どうなの？」そんなあなたの心の

リアルな働き方を大調査！

どれも、数字や制度だけではわからない。
声に応えるべく、先輩たちの「生の声」を集めました！

私も入社当時は3DPの存在も知らない状態で、
人が良さそうっていう直感で入りました。
私は今その直感を信じて良かったと思っています、
それは周りにいてくれる
先輩同期後輩がすごく素敵だからです。
何かわからないけど
おもしろそう・楽しそう・良いかもと
思ったらぜひ来てみてください

3DCAD
といったら
ここしか
ないです

レベルアップがしやすい会社！
やりたい事ができたとき
応援してくれる会社

入社を検討している方たちに向けた
アドバイスやメッセージをお願いします！

新しい技術が集まる。
そして触れやすい環境です。
常にアンテナを張り、
すぐに適応できるエンジニア
を目指しましょう

SOLIZEに入れば
チャレンジや成長し自身を変える環境があります。
必要なのは意思と楽しむ心です

SOLIZE PARTNERSの人財育成

一人ひとりの「なりたい姿」が異なるのは当たり前。だからこそ「個」のキャリアデザインを大事にする



Nanbu Kazuyoshi
南部 一善
人財戦略部 部長

エンジニアとしての「幹」から、 選択できる枝葉を広げていく

基本となる考え方は、人間は一人ひとり個性も適性も異なるということ。「なりたい姿」も人それぞれです。個が目指す姿に向かってキャリアを歩んでもらえるように、会社としてどんなサポートができるのか。それを起点に人財育成制度を整えています。キャリアの始まりとして重視しているのは、エンジニアとしての「幹」をつくること。基礎力が固まっていれば、どんな状況に置かれても柔軟に応用する力が発揮できるためです。確かな「幹」を持ち、さまざまな枝葉を伸ばしていくことで、将来できることの選択肢が着実に増えます。その結果、「やりたいこと」を選べる人生を実現してほしいと考えています。

個が描くキャリアに向けて チャレンジし続けられる環境

「なりたい姿」「やりたいこと」は、さまざまな仕事を経験しながら、どこかで見つけていけばいい。「エンジニアとして生きていく」という軸を持ち、転職せずとも継続してキャリアを積んでいけるのが当社の良さであり、手を挙げて自分のやりたいことを叶えていける環境があります。自主自律でキャリアを考えられるようになることは、理想の未来を歩むための大きな力となります。入社後は、キャリアデザインを自然と意識するような研修や面談があり、ジョブローテーションといった「なりたい姿」「やりたいこと」を発見するきっかけを作れるような機会もあります。自分の意志

で新しい領域にチャレンジできる「ジョブチャレンジ制度」も導入しているので、個が描く、独自のキャリアを形成することができます。

誠実さ。期待を超える行動。 未来を描きチャレンジを楽しむ人

エンジニアリングの世界でやってみたいことを実現したい人を求めています。共通して求めたい要素は、誠実な人。自ら率先してまわりの期待を超える行動ができる人。そして未来を描きチャレンジを楽しむことができる人です。SOLIZE PARTNERSは完成した会社ではなく、まだまだ変化をしていく会社です。敷かれたレールに乗るのではなく、レールそのものも自ら生み出していきたい人にとっては、パフォーマンスを存分に発揮できる会社です。ものづくりを進化させたい人。エンジニアの社会的な価値を向上させたい人。エンジニア起点でビジネスを生み出した人。エンジニアリングの未来を切り拓いていきたい人。そんなことに熱中できる仲間に出会えることを楽しみにしています。



キャリア事例

一人ひとりの「やりたい」を起点に、キャリアは自在に描ける。SOLIZE PARTNERSで挑戦を重ねるエンジニアたちの、リアルなキャリアの歩みを覗いてみましょう。

01

「好き」と「やりたいこと」の 追求はシンプルに楽しい

K・I
2015年経験者入社
情報環境学部卒

～2015年 「好き」を仕事にするまでの回り道

子どもの頃から無類の車好きでしたが、「好き」を仕事にするまでには回り道をしました。新卒で入社したのは情報系の企業で、サイト運営やプログラミングに携わりましたが、次第に「やりたいこと」とのズレを感じるようになりました。働きながら自動車整備士の資格を取得し、特殊車両の整備を行う会社に転職しました。日々工具を握る仕事は楽しかったものの、修理だけではなく「つくること」への挑戦もしたいと思うようになり、「好き」な自動車に関する多様な仕事ができるSOLIZEに入社しました。

2015年 生産技術の領域を切り拓いていく

研修で初めて3D CADに触れ、設計のいろはを身に付けたあと、自動車部品メーカーの生産技術部門に配属されました。工場の生産ラインが部品の設計要件を満たすために、最適な順番や配置を考える業務です。「あれ、部品の設計じゃないのか？」と最初は戸惑いましたが、当時は生産技術の領域にSOLIZEの専任者がいなかったため、自ら道を切り拓いていく仕事に挑戦心をかき立てられました。

2019年 マネジメントの軸が明確になる

リーダーとなり、メンバーからの技術相談や育成を担う立場になりました。マネジメントには絶対的な正解がありません。文献を読みあさり、ようやく見つけ出した自分なりの軸は、「私のミッショ

ンである生産技術領域を拡大させるために、メンバーの個性を伸ばし、パフォーマンスを最大化すること」だと気づきました。

2023年 準委任という新たな組織の立ち上げ

技術的な幅を広げることを目的に、手を挙げて技術部に異動しました。同時に、派遣と受託の中間に位置する「準委任」の組織も立ち上げました。お客さまの要望が曖昧でも、各メンバーが持つ得意分野を組み合わせ、柔軟に実現していく自由度の高い組織です。新たな技術への挑戦を求めるメンバーにとっては、SOLIZEでできることの可能性を広げる場となっています。

2025年 新たな価値を生む技術やサービスを

「こんな世界にしたい」という想いを伝え、それぞれが得意なことを活かしながら仕事を進めていく。そうすることで、叶えたい目標が生まれ、何か壁があっても乗り越えることができ、レベルアップにつながります。「好き」と「やりたいこと」を重視して仕事することは、本当に楽しい。準委任の組織から、会社へ新たな価値を生み出す技術やサービスの芽が着実に育ち始めています。



一人ひとりの「やりたい」を起点に、キャリアは自在に描ける。SOLIZE PARTNERSで挑戦を重ねるエンジニアたちの、リアルなキャリアの歩みを覗いてみましょう。

02

M・F
2020年新卒入社
生物理工学部卒

仕事で経験したこと、
考えてきたことが
未来のキャリアに
つながっていく

2019年 研究も楽しいけれど、新しいことにチャレンジ

大学時代は植物の研究をしていました。研究職に進む道もありましたが、植物を使って香水づくりをしたときにものづくりの楽しさに目覚めました。SOLIZEには、「CADでものづくり」というキーワードに興味を持ちました。お客さまとやりとりしながら、さまざまなものを設計する仕事はおもしろそうだと感じたことに加えて、新しいことにチャレンジしたいという気持ちも芽生えました。

2020年 若手をサポートしてくれる環境をフル活用

新入社員研修でCADを学び、その後は自動車部品メーカーでトランスミッションのケーシング設計業務を担当しました。最初はわからないことがあってもなかなか質問できませんでしたが、「このままでは一人前の設計者になれない」と考え、積極的にコミュニケーションを取るようになりました。その結果、上司や先輩が丁寧に教えてくださり、知識をどんどん吸収できるようになりました。

2022年 チームで力を合わせて目標を達成する喜び

設計の仕様がガラリと変わる難しいプロジェクトがあり、チームで取り組みました。それぞれの得意分野を活かして個々のアウトプットの質を高め、密に情報共有しながらチーム一丸となって進めました。最後にはお客さまから「ありがとう」という言葉をいただき、皆で頑張った成果だと感じました。お客さまの要求に応えることに加え、自分一人ではなくまわりと一緒に成長していく

ことの大切さを実感できた経験です。この経験が、今に続く仕事のモチベーションの原点となっています。

2024年 設計とプロジェクトマネジメントの両立

自動車メーカーに異動し、金属設計から樹脂設計へと業務内容が変わりました。加えて、プロジェクトのマネジメントも担うようになり、関わる人数が一気に増えました。設計業務を続けながら、他部署と連携してプロジェクトを進めていくなかで、新しい知識を得る機会も増え、コミュニケーションの重要性をこれまで以上に認識するようになりました。

2025年 手を挙げて社内に貢献する活動を提案

自動車部品メーカーと完成車メーカーの両方で働くことになり、基礎的な知識がなく最初はついていくのが大変でした。そこで、新しいメンバーのために業界・会社の歴史的な背景、機械工学の基礎、車の仕組みなどを教えたいと提案し、取り組ませてもらうことになりました。さまざまな仕事を経験していくことで「やりたいこと」や、次のキャリアが見えてきますし、自分から手を挙げてそこへ向かっていけるのがSOLIZEの魅力です。



エンジニアの
活躍機会を広げるため
新事業を
立ち上げることが使命

03

K・K
2006年新卒入社
工学部 物質工学科卒

2006年～
2008年 好きな設計とシミュレーションを極める

大学ではエネルギープラントの老朽化予測に取り組んでいました。3D CADで環境モデルを作製し、CAEでシミュレーションして検証するプロセスが好きでした。これまで学んだ知識を活かせると考え、SOLIZE（旧インクスエンジニアリング）に入社しました。最初は、自動車メーカーの研究所でエンジンを支える部品の設計を担当しました。指示されたとおりに仕事をするのではなく、自ら提案することが求められる環境で、エンジニアとして鍛えられ、大きく成長できました。

2009年～
2016年 SOLIZEのためにできることを考える

入社から3年が経ち、設計者として一人前になっていくのと並行して、配属先で活躍するメンバーが増えていきました。「会社にどのような貢献ができるのか」という意識が芽生え、派遣だけではなく受託によるチームの組成といった新たな提案や、エンジニアの育成を考えるようになりました。

2017年～
2020年 会社全体を知るべく人財教育の部署に

手を挙げて人財教育の部署に異動しました。新入社員教育を担当し、社内の各部署と調整して配属先を決めることで、会社の全体像を把握できると考えたからです。新入社員研修では、本人の志向ややりたいことに近づけるため、感覚ではなくデータに基づいた分析を重視しました。

2020年～
2021年 新規事業でエンジニアの活躍機会を増やす

研修では、外国籍のエンジニアの向上心の強さに刺激を受けました。AIなどの最新技術に対して非常に関心が高く、SOLIZEの技術領域を広げれば、エンジニアの活躍機会もはっきりとイメージできました。そこで、XR領域の新規事業を会社に提案しました。

2022年～
2024年 XRはSOLIZEの技術の蓄積が活かせる

環境をシミュレーションするXR分野では、SOLIZEが持つ3D CADやCAEの技術を最大限に活かすことができます。今後の製造業の進化を見据え、他社に先駆けてこの分野に挑戦する意義があると考えています。この領域を極めたいエンジニアたちとともに、事業を軌道に乗せるため、全力で取り組んでいます。

2025年～ SOLIZEグループの新会社を増やしたい

SOLIZE PARTNERSには、新しいことへの挑戦を応援する風土があります。転職しなくても、キャリアを維持しながら新しいことにチャレンジできる。この環境を活かし、さらなる新規事業を生み出し、エンジニアが活躍できるSOLIZEグループの新会社を増やし続けたいと考えています。



職種紹介

設計、解析、3Dプリンター、XR、営業——。

SOLIZE PARTNERSは、多彩な技術領域で日々新しい価値を生み出しています。

ここでは、実際に活躍している社員の姿を通じて、それぞれの職種についてご紹介します。



研究開発

需要がある技術やサービスの種を見つけ育てる

他社にはない新たな技術やサービスを発見し、世の中に送り出すことが研究開発の仕事です。最適なデジタルものづくりを実現するアプリケーションの開発、他社との共同開発、新規事業開発の支援、開発要素を含む案件など、幅広い取り組みが行われています。そのなかで私は、お客さまのニーズに合う材料を短期間で提供できる新材料の開発に携わりました。

何度も検証を繰り返し、ゼロからイチを作り出す

お客さま先でのヒアリングから始まり、どの材料を組み合わせるかの配合検討や、新材料の作製に加え、開発期間を短縮するための機械物性評価のセットアップ構築も行いました。ゼロからイチを生み出す仕事なので、誰も行ったことがなく、答えもありません。論理的に考え、目的を常に意識し、逆算してものごとを進めることを学びました。

自分の名前がついた新材料を世に送り出したい

SOLIZE PARTNERS には新材料開発の実績があり、材料名が開発者の頭文字から名付けられたと聞き、「かっこいい!」と憧れて手を挙げたことで、機会をいただきました。業務は難しく、リリースまでたどり着くには時間がかかりますが、10年以内に自分の名前がついた新材料を、これから入社する後輩仲間たちと一緒に世に送り出したいという夢を抱いています。

H・Kが目指す **BRAND-NEW ENGINEERING**

複数の技術を掛け合わせ、

目指す開発を実現する

上司や先輩はそれぞれ異なる技術のエキスパートで、私には思いつかなかったアイデアや切り口を与えてくれます。複数の技術を掛け合わせることは、新材料開発の可能性を広げるだけでなく、エンジニアとしての発想力を高めることにもつながります。長期間にわたるプロジェクトになるため、経験を積んでからできる仕事だと思っていましたが、自分からチャレンジしたいと伝えたところ、入社2年目にも関わらず、機会を与えてもらいました。社内の最先端技術にも常にアンテナを張り巡らせ、知識を吸収しながら目標に向かってまい進します。



社内外の

有力プレイヤーをつなげ

前例のないサービスに挑む

事業開発

実現可能な事業を紐解き、実証していく

前例のないサービスを生み出すためには、すべてを説明する責任があります。「本当にそんなことが可能なのか?」という疑念を解消するため、事業が目指す世界を紐解き、そこへ踏み出せるかを証明していきます。難しいことですが、常にチャレンジしている楽しさがあります。未経験のことに取り組むというのは、第一人者になれる可能性があるということです。

市場を分析し、パートナーを探して体制を整える

すべて自分起点で、何をやるべきか考え、行動していきます。新しいことに挑戦するには、自分たちだけではなく、協力してくれる企業を探すことも必要です。たとえば、市場を分析して有力なパートナーが海外にいたことがわかれば、契約のために現地に赴き、直接プレゼンを行うこともあります。また、事業化に向けて社内の体制を整える役割も担います。

エンジニア経験と専門家とのつながり

エンジニアとして、上流から下流まで一貫通貫したものづくりを経験してきたことで、技術のポテンシャルを見る目には自信があります。一方で、仕事は一人でできるものではなく、どれだけ周囲の協力を集められるか、専門家から知見を得られるかが重要です。法律家や学会とのコネクションが生きることもあります。常に新しい情報を入手し続けています。

T・Kが生み出す **BRAND-NEW ENGINEERING**

ベンチャー精神で

事業の種を掘り当てる

社内にはさまざまな技術のバックボーンを持つ人財がいて、新規事業のチームビルドの際に「こういう専門家はいますか?」と声をかけると、「それならわかります」という人が次々に集まってきます。皆、チャレンジ精神が旺盛で、新しいことに前向きに取り組む風土があります。社内での技術の掛け合わせに加え、社外のプレイヤーも組み合わせれば、何でもやれる。事業の種を掘り当てて、うまくつなげていく。そのサイクルをどんどん回すのが事業開発です。



職種紹介

設計、解析、3Dプリンター、XR、営業——。

SOLIZE PARTNERSは、多彩な技術領域で日々新しい価値を生み出しています。

ここでは、実際に活躍している社員の姿を通じて、それぞれの職種についてご紹介します。

S・O

2021年新卒入社

理工学部 理工学科・機械化学コース卒

ハイエンド3D CADを駆使し、
理想の製造プロセスを実現する

設計

製造プロセス全体の最適な設計を追求

自動車部品メーカーで、EV用バッテリーなどを組み込むケーシングの設計業務を担当しています。お客さまの要求仕様を正確に理解し、目標とする性能を満たす製造プロセスを追求しています。3D CADを用いたモデリングはもちろん、製造業で重視されるQC（品質・コスト・納期）の最適化や、製造工程からテスト手法まで、プロセス全体の設計を行っています。

課題を解決するための提案が求められる

課題を乗り越え、お客さまの理想を実現することが、最終的には良い製品づくりにつながります。失敗を恐れず、積極的に課題解決のための提案を行うことが求められる仕事です。短納期の場合もあれば、複雑な条件で最適なプロセス設計が難しいケースもありますが、果敢に取り組み、それを実現できたときには大きな達成感があります。

コミュニケーションが成長の鍵に

SOLIZE PARTNERS のエンジニアが重視しているのはコミュニケーションです。目の前のお客さまはもちろん、上司や先輩といった縦の関係、切磋琢磨できる横の関係、部署の枠を超えて意見をもらえる斜めの関係、そのすべてに恵まれ、成長を実感しています。今後はリーダーシップを強化し、組織単位で貢献できるエンジニアを目指します。

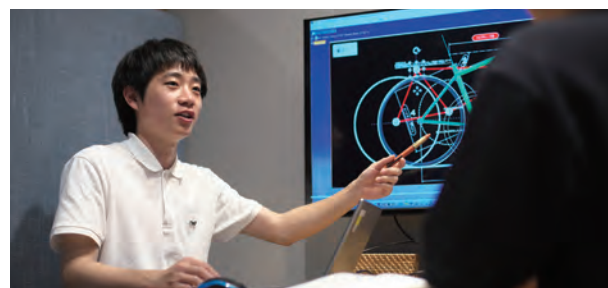
S・Oが考える

**BRAND-NEW
ENGINEERING**

最先端の技術トレンドを

業務と掛け合わせる

現在は技術革新の時代です。AIやデジタルツイン、サステナビリティといった領域の進化に敏感に対応し、さらにさまざまな製造現場で培ってきたエンジニアの知見やアイデアを掛け合わせることで、机上の論理ではなく、現場に即した革新的なエンジニアリングが生み出されます。自動車業界における電動化にともなう構成部品のサイズや材質の変化、ターゲット市場（国）の法律や環境による性能の差異などの業界動向にも注目し、技術のトレンドを業務に取り入れることで、設計スペシャリストとしての存在価値を高めていきます。



解析

考えてきたこと、
経験してきたことが
突然つながる
おもしろさがある

D・S

2016年新卒入社

工学部 機械工学科卒

現象を再現するシミュレーションと解析

CADの設計データが、さまざまな条件下で目的とする性能を発揮できるか、コンピューター上で現象を再現するシミュレーションと解析を行っています。自動車メーカーの衝突シミュレーションから始まり、エネルギー、振動、電子化解析など、さまざまな領域の経験を積んできました。現在は、解析モデルの作り方から話が始まる提案型の業務がメインです。

本当に実現したいことを突き詰めていく

お客さまがどのような課題を抱え、何を望んで私たちに解析を依頼しているのかは、言葉だけではすぐにわからないこともあります。その要望を明確な形にする過程は難しくもあり、同時に挑戦しがいのある部分です。しっかりと目線を合わせて話し、落とし込んだ解析モデルを「イメージどおりです」と言っていたときに仕事のやりがいを感じます。

違う領域に見えても、すべてが繋がっている

博士課程までは鉄の研究をしていました。SOLIZEに入社したのは、劇的に新しいことができる環境を求めていたからです。社会に出て、大学時代の知識を直接活かすことは難しいですが、ふとしたときに、過去にやってきたことが突然つながるおもしろさを感じます。生きてきたすべての考え方や価値観が、仕事で活かされていることを実感しています。

D・Sが実現したい

**BRAND-NEW
ENGINEERING**

社会に役立つ

今はまだ世にないものを生み出す

実現したいのは、SOLIZE PARTNERS というロゴを掲げたプロダクトを生み出すことです。今あるものを発展させるだけではなく、新しいものをつくり、誰かのため、社会のために役立つことがエンジニアの本分だと考えています。社内には多様な技術領域があり、他社と協業するプロジェクトの可能性も探っていけば、やれることは無限に広がります。「これ、SOLIZE PARTNERSだね」と多くの人に認識される、今はまだ世にないものを生み出したい。そして、その意志があれば実現できる会社です。



設計、解析、3Dプリンター、XR、営業——。

SOLIZE PARTNERSは、多彩な技術領域で日々新しい価値を生み出しています。
ここでは、実際に活躍している社員の姿を通じて、それぞれの職種についてご紹介します。



「実現不可能？」と
思うような
複雑な内部構造も造形する

K・F

2016年新卒入社

科学教育研究科 科学教育(生物)専攻卒

3Dプリンター

さまざまな産業分野に3D造形製品を提供

SOLIZE PARTNERSには多様な材料に対応した3Dプリンターがあり、私は金属3Dプリンターで、おもに自動車関連部品の試作を行っています。金属粉末を一層ごとに敷き、そこにレーザーを照射して焼結させて・・・という工程を繰り返し、積み重ねていくことで製品を作ります。3D造形は自動車以外にも航空宇宙、医療機器、防衛産業などの幅広い分野で利用されています。

人間が手を入れることが、不可能を可能にする

データがあればすぐものができるというイメージを持たれがちですが、実際は細かいところまで人の手を入れないとうまく製品が作れないところが、難しさでもあり、おもしろさでもあります。高性能な3Dプリンターを用いれば、複雑な形状やオリジナル部品も作ることができます。従来の製造方法では不可能であった設計も可能にできるこの仕事に、大きな魅力を感じています。

困難に挑戦することが評価に結びつく

複雑な内部構造を持つ部品には、技術的な制約があります。しかし、妥協することなく特殊な造形方法を提案し、実現したときには、製品だけではなく、性能向上や製造プロセスの効率化も評価されました。3Dプリンターならではの工法を考え、採用していただけることが一番の喜びです。お客さまの要望に、手で触れられるリアルなもので応えていける仕事です。



K・Fが挑戦する **BRAND-NEW ENGINEERING**

3D造形技術の限界まで

攻める挑戦もできる

最初は3D造形装置の準備がおもな仕事でしたが、データ設計、チームリーダー、生産管理、ISO関連業務など、3Dプリンターによる造形以外のさまざまな業務にも携わってきました。幅広い業務を経験したことで、最先端の3Dプリンターの可能性やおもしろさを実感を持って語ることができるようになりました。「こんなことまでできるの？」と驚かれるような3D造形の限界に挑戦する提案も、SOLIZE PARTNERSでなら可能です。常に期待を上回る仕事をしていきたいです。

現物をつくらなくても
目の前にあるかのように
見せることができる

D・H

2022年新卒入社

工学研究科 信頼性情報システム工学専攻卒

XR

仮想空間に3Dモデルを投影する技術

製造業はデジタル変革の流れの中で、3D図面による設計・開発が主流となっています。しかし、3D図面の立体構造を把握することは難しく、感覚にも個人差があります。そこでXRデバイスを使い、仮想空間に3Dモデルを投影して、まるで目の前に現物があるかのように見せることで、設計の評価や改善を行い、効率化を実現するソフトウェアを開発しています。

現場の生の声を聞くことが価値を高める

どれほど先進的なデジタル技術でも、お客さまの課題やニーズに合っていないければ、生産現場で使われることはありません。だからこそ、工場に直接出向き、現場の生の声を聞くことを何より大事にしています。すぐに軌道修正でき、つくるものの軸もぶれなくなります。XR技術の真価を発揮することにもつながります。

若手でも最前線の現場で挑戦できる

やりがいを感じるのは、新卒入社してすぐに、最前線の現場で実務に関われていることです。学生時代にXRの研究活動で取り組んでいたシステム開発が、実践で応用できています。他社では熟練したエンジニアが担うような仕事にも、早くから挑戦させてもらえすし、サポート体制も万全です。XRの第一人者として誰からも一目置かれるスペシャリストを目指します。

D・Hが創造する **BRAND-NEW ENGINEERING**

最先端技術の

掛け合わせが自社でできる

SOLIZE PARTNERS は、製造業の課題をXRとAIを使って解決することに、他社に先駆けて取り組んできました。XRもAIも先進的な領域であり、これからも技術は進化していきます。デジタル空間の中でAIが新たな物体を生み出し、仮想と現実の境界をなくすXRが、その成果を現実のものとして具現化します。こうした最先端技術同士の掛け合わせを自社の技術領域の中で実現できることは大きな強みであり、そこから新しい価値が生まれる可能性もあります。



職種紹介

設計、解析、3Dプリンター、XR、営業——。

SOLIZE PARTNERSは、多彩な技術領域で日々新しい価値を生み出しています。

ここでは、実際に活躍している社員の姿を通じて、それぞれの職種についてご紹介します。

「お客さま」

「エンジニア」

「SOLIZE PARTNERS」

三者すべてにとって

価値のある未来を描き、実現する

エンジニアリング営業



S・Y

2022年経験者入社
経営学部 経営学科卒

人財と技術を掛け合わせ課題を解決

製造現場の課題をヒアリングし、当社が持つ人財と技術のリソースを組み合わせ、課題解決へと導く方法を提案しています。エンジニア派遣、受託開発、3Dプリンター製造など、幅広い領域に対応できること、デジタルものづくりの上流から下流まで一気通貫でエンジニアリングを提案できることが、他社にはないSOLIZE PARTNERSの強みです。

宝であるエンジニアが輝けるように

私の原点には、「人の人生に関わる仕事がしたい」という想いがあります。営業提案は、エンジニアの働き方に大きな影響を与える仕事です。リソース不足や効率化など、お客さまが解決したいテーマはさまざまですが、宝であるエンジニア一人ひとりが輝ける未来を考えて提案する。それは、誰よりも多くの情報を持っている営業だからこそ実現できることです。

新しいお客さまを開拓していきたい

既存のお客さまと継続的に関係を深めていくことも大事ですが、現在は新規開拓したお客さまとゼロから信頼関係を築いていくことに、やりがいを感じています。何も情報がない状況から「お客さま」「エンジニア」「SOLIZE PARTNERS」、関わるすべての人にとって価値あるビジョンを描き、自ら主導して実現していく仕事は、難しいからこそ評価され、承認欲求も満たされます。



S・Yが目論む BRAND-NEW ENGINEERING

社内部署と連携しながら

提案を拡大

お客さまとの最初の会話では、SOLIZE PARTNERSが対応できる技術範囲の広さをしっかりとお伝えしています。目の前のお困りごとが設計や解析のピンポイントの内容であっても、3DプリンターやXRが話題になれば、すぐにご提案できるよう、カバンには常に3D試作品や資料を用意しています。また、すぐに社内部署と連携して動き、提案の幅を広げられるような準備もしています。技術に関わることであれば何でも提案できる。技術の可能性が無限にある。それがSOLIZE PARTNERSで営業をする楽しさです。



T・T

2020年経験者入社
経済学部 経済学科卒

一番多くの情報を持っているからこそ
感度高く動くことが求められる。

3Dプリンター営業

エンジニアと二人三脚で仕様を考える

3Dプリンターによる試作品製作の営業を担当しています。お客さまのご要望に対し、「どのような試作品製作が可能か」を担当エンジニアと共に検討し、提案します。受注後は、完成までのスケジュール管理や納品、フィードバックの取得を行い、次の仕事へとつなげています。提案した仕様どおりに3Dプリンターで再現された試作品を見るときには、いつも達成感があります。

希望を叶える良いものを届ける役割

試作品だからこそ決まった作り方がなく、ゼロから考えられる点がおもしろいところです。一方で、お客さまが本当に求めていることと、エンジニアの技術へのこだわりを、最も高いレベルで成立させることは容易ではありません。目指すのは、お客さまに良いものを届けること。情報を一番持っている営業が感度高く動くことで、お客さまの希望に叶う良いものにつながります。

ものづくりの知見がどんどん増えていく

自動車部品の試作が多く、世に出る前の車種に携われるのは車好きとしてやりがいがあります。自社には多様な材料で3Dプリンティングできる環境があり、他部署と相談しながら、これまでにない仕様を実現することも可能です。覚えることは多いですが、だからこそものづくりの知見が増え、他社では真似のできない仕事ができます。

T・Tが提案する BRAND-NEW ENGINEERING

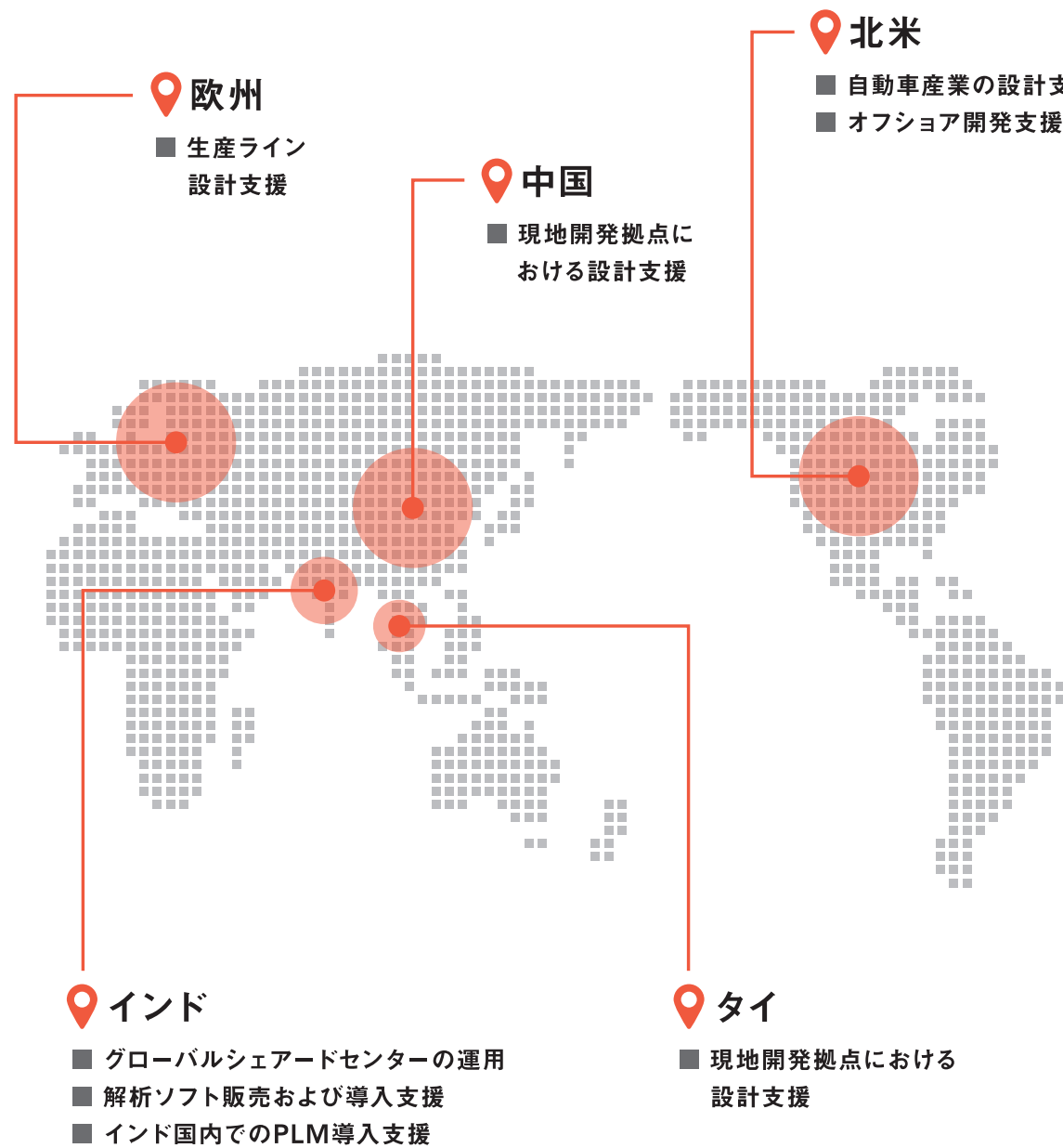
業界全体を誰よりも熟知し、

掛け合わせの提案をする

さまざまな業種のお客さまと関われることはもちろん、キャリアを積み重ねながら、同じ業界内でも複数の会社と関わっていくことができます。メーカーにはそれぞれ特長があり、一つひとつ経験して製造現場のリアルな情報を知っていけば、業界全体について誰よりも詳しくなれるはずです。そこに、設計のプロフェッショナルと製造のプロフェッショナルを掛け合わせた提案を行うことで、やれることの可能性はほとんど無限に広がります。



海外拠点



国内拠点



私たちについて

MISSION

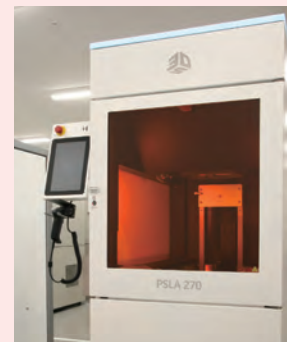
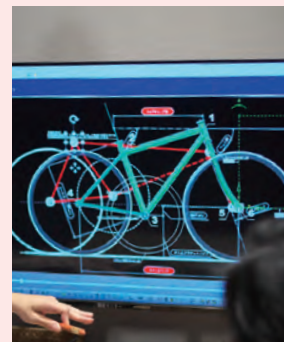
デジタルものづくりを革新し続ける

私たちは、日本で初めて3Dプリンターを活用したものづくりビジネスを展開し、30年以上にわたりこの分野をリードしてきたパイオニアです。これまで製造業の皆さまとともに、まだ世の中になかった価値をどう実現するかという問いに向き合い続けてきました。支える立場として、現場の課題と真摯に向き合うこと——それが私たちのものづくりの起点です。

そして、高度な技術力を持つエンジニアたちとともに、3Dプリンター技術に代表される独自のデジタルものづくりソリューションを提供しています。

どの企業グループにも属さない独立性の高い技術者集団だからこそ、企業文化や開発体制の違いに柔軟に対応でき、お客様の考えやプロジェクトの進め方を尊重した支援が可能です。3D CADをはじめとしたデジタルツールを使いこなすスキル、最良の

製品開発パートナーとして、本質的な課題に踏み込む提案スキル。「価値あるものづくり」を追求するお客さまとともに、エンジニアリングのさらなる可能性を切り拓き、デジタルものづくりを革新し続けます。



VISION

世界をリードする

デザインエンジニアリングファームへ

私たちが大切にしているのは、最先端技術と職人的な粘り強さを融合させることです。単なる受注対応にとどまらず、お客さまの目指すゴールに向けて自分たちも当事者意識を持ち、細部までこだわり抜く。こうした積み重ねが、継続的な信頼関係と数多くの成功事例につながってきました。

私たちの組織は、難問に立ち向かうことで進化してきました。チーム全員が上下の壁を越え、フラットに意見を交わしながら課題に挑む姿勢が、SOLIZE PARTNERSのDNAです。日頃お客さまからいただく難しい課題はもちろん、自社が経営危機に直面した過去さえも、その度に私たちは結束を強化してきました。その結果、どんな困難にも立ち向かう強い組織に進化し続けています。

事業領域

3Dプリンティングの最前線を走り続けるデジタルものづくりのパイオニアです。



ハイエンド 3D プリンターに特化 目指す品質を実現できるまでフォロー

SOLIZE PARTNERSは3D Systems社、日本HP社、Roboze社の正規販売代理店として、お客さまの社内に生産設備としての3Dプリンターを導入することを支援しています。

部品の選定から、材料の選定、3Dプリンターの能力を活かした製品設計、プロセス設計、解析、実験・評価、造形用データ作成、出力されたものを仕上げていく後工程、設備メンテナンスまで、お客さまのものづくりに伴走します。



ハイエンド 3D プリンターを使いこなし 最終製品まで高い品質で製作

1990年にいち早く3Dプリンターを導入し、30年以上にわたり積層造形に取り組んできました。ハイエンド3Dプリンターを多数保有し国内最大級のキャパシティで試作品から最終製品の製作を受託。また金属造形の活用を広げる技術開発も行っています。さらに豊富なノウハウを活用して、前工程、後工程についても最適解を提案。製品の企画段階からの相談にも応じ、デジタルものづくりをお客さまと共に創造していきます。



理想の開発を実現する、 デジタルエンジニアリング技術

デジタル技術を活用し、製品開発を支えるエンジニアリングサービスを提供しています。スタイリング・設計・解析といった開発業務の実行から、AI・XR・3Dツールを活用した効率化ソリューションまで、幅広い領域に対応しています。

多様な業界の課題に向き合い、現場に寄り添う「最良のパートナー」として、理想の開発を形にします。

会社概要

商号 SOLIZE PARTNERS株式会社

設立 2025年1月
※未上場（親会社：SOLIZE Holdings株式会社
東証スタンダード上場）

代表者 代表取締役社長 井上 雄介

資本金 1,000万円
(SOLIZE Holdings株式会社 100%)

従業員数 1,312名（2025年7月時点）

事業内容 製品開発受託・エンジニア派遣・コンサルティング
3Dプリント試作・最終製品製作
3Dプリンター装置導入
エンジニアリングに関するシステムの販売・構築

本社 東京都千代田区三番町6番3号
三番町UFビル3F

子会社 株式会社SiM24
[海外]
SOLIZE India Technologies Private Limited
SOLIZE Corporation (Thailand) Ltd.

関係会社 [国内]
SOLIZE Holdings株式会社
SOLIZE Ureka Technology株式会社
+81株式会社
[海外]
SOLIZE USA Corporation
SOLIZE Shanghai Corporation
SOLIZE Canada Corporation



採用サイトはこちら

BRAND-NEW ***ENGINEERING***

世界をリードするデザインエンジニアリングファームへ



SOLIZE PARTNERS